

(別記)

四日市市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、米を主体に転作作物として小麦及び大豆、また、都市近郊という立地をいかし、花き、野菜等の生産が行われている。しかし、近年、農業者の高齢化が進み、耕作放棄地が増加しつつある。

今後、主食用米の需要が減少する中、他作物への作付転換、担い手への農地集積を進め、水田農業の維持を図っていく必要がある。また、特に需要の高い小麦及び大豆については、排水対策及び土壌改良等により、品質・収量の向上を図り、よりニーズに対応した生産に取り組む必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

市内約2600haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者の意向を勘案しつつ、主食用米の地域農業再生協議会別生産量の目安に沿った生産を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料価格の高騰により安全安心な国産飼料用米の需要が増加している。県内外の実需者と連携し、多収品種を推進するなど、生産の拡大を図る。

また、わらを利用する耕畜連携を推進し、農業者の所得向上を図る。

イ 米粉用米

小麦の代替品として県内の実需者と連携し、需要拡大を図る。産地交付金を活用して、多収品種の導入を支援し、米粉用米の生産面積の拡大を推進する。さらに、生産農地の集約化による効率化にも取り組む。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要が減少する中、産地交付金を活用して国内外の新たな米の市場の確保に向けて取り組む。さらに、生産農地の集約化による効率化にも取り組む。

エ WCS用稲

県内の実需者と連携してWCS用稲の需要拡大を図る。産地交付金を活用して、生産農地の集積化による効率化にも取り組む。

また、粗飼料作物などの生産ほ場では、有機物の持ち出しによる地力低下が懸念される。そこで、耕畜連携を推進し、資源循環を進め堆肥施用による地力増進

を図る。

オ 加工用米

生産農地の集積・拡大を図る。また、地元の実需者との契約を推進して、需要の拡大を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

産地交付金を活用して、団地化及びブロックローテーションの推進により、作業の効率化、低コスト化を図る。また、二毛作による水田の高度利用は、作付面積拡大に有効な手法であるので推進していく。

小麦については、種子更新による病害予防、明渠の高度化やチゼルプラウによる排水対策、施肥量の管理等による単収向上を目指す。

大豆については、雑草対策として中耕培土の実施を徹底することで、雑草種子の混入を防ぎ、さらに単収向上を目指す。

また、実需者からは環境保全型農業直接支払事業に規定される方法（化学農薬を使用せず、化学肥料を使用しない方法）で栽培された大豆の需要が高まっているため、市内での定着率向上を目指す。

飼料作物については、実需者の要望に対応した生産を目指す。

(4) 高収益作物（野菜等）

当地域の需要に応じた販売を目的とした生産に取り組めるよう、直売所等における地産地消の推進を図る。また、農地の有効活用、農業生産力の向上及び消費者への安定的な供給のためにも、水田での野菜（二毛作）の定着、生産拡大のための支援に取り組む。

また、四日市市の指定・特定野菜について、さらに生産拡大のための支援に取り組む。

(5) 畑地化の推進

農地の有効活用及び農業生産力の向上に取り組む。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	1,571	1,676	1,675
飼料用米	45	46	47
米粉用米	14	15	17
新市場開拓用米	—	1	1
WCS用稲	6	6	6
加工用米	20	20	21
備蓄米	—	—	—
麦	404	429	455
大豆	282	288	293
飼料作物	20	20	21
そば	1	1	1
なたね	—	1	1
その他地域振興作物	166	168	173
野菜	112	114	117
花卉・花木	14	14	15
果樹	17	17	18
地力	22	22	22
その他	1	1	1

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	2020年度
1	麦（基幹作）	麦生産性向上加算	基幹作麦作付面積 単収	2018年度 38,937a 272kg/10a	2020年度 42,500a 292kg/10a
2	麦（二毛作）	麦生産性向上加算 （二毛作）	二毛作麦作付面積 単収	2018年度 449a 272kg/10a	2020年度 550a 292kg/10a
3	大豆（基幹作）	大豆品質向上加算	基幹作大豆作付面積 単収	2018年度 1,814a 47kg/10a	2020年度 2,080a 120kg/10a
4	大豆（二毛作）	大豆品質向上加算 （二毛作）	二毛作大豆作付面積 単収	2018年度 24,679a 47kg/10a	2020年度 24,819a 120kg/10a
5	飼料作物（二毛作）	飼料作物作付拡大助 成（二毛作）	二毛作飼料作物作 付面積	2018年度 1,009a	2020年度 1,166a
6	資源循環に取り組 む粗飼料作物等	資源循環 （耕畜連携）	資源循環（耕畜連 携）取組面積	2018年度 216a	2020年度 250a
7	わら利用に取り組 むわら専用稲及び 飼料用米	わら利用 （耕畜連携）	わら利用（耕畜連 携）取組面積	2018年度 1,186a	2020年度 1,370a
8	野菜・花卉・花木・ きのこ類 （基幹作）	高収益作物助成	野菜作付面積	2018年度 1,809a	2020年度 2,265a
			花卉花木作付面積	2018年度 224a	2020年度 240a
9	野菜 （二毛作）	高収益作物助成 （二毛作）	二毛作野菜作付面積	2018年度 943a	2020年度 981a
10	飼料用米 （多収品種）	飼料用米への多収品 種の導入助成	飼料用米（多収品 種）作付面積	2018年度 3,984a	2020年度 4,145a
11	米粉用米 （多収品種）	米粉用米への多収品 種の導入助成	米粉用米（多収品 種）作付面積	2018年度 154a	2020年度 193a
12	新規需要米 （米粉用米）	新規需要米（米粉用 米）の集積支援	米粉用米作付面積 （集積）	2018年度 1,408a	2020年度 1,626a
13	新規需要米 （WCS用稲）	新規需要米（WCS用 稲）の集積支援	WCS用稲作付面積 （集積）	2018年度 318a	2020年度 368a
14	加工用米・新市場 開拓用米	加工用米・新市場開 拓用米の集積支援	加工用米・新市場 開拓用米作付面積 （集積）	2018年度 249a	2020年度 288a
15	大豆 （基幹作・二毛作）	大豆付加価値助成	大豆作付面積（付 加価値分）	2018年度 593a	2020年度 617a
16	新市場開拓用米 （基幹作）	新市場開拓用米の取 組助成	取組面積	2018年度 —	2020年度 100a
17	—	畑地化の取組	取組面積	2018年度 —	2020年度 50a